

## Beauty Monthly Topics

### アンチエイジングはもう古い!?

### 『老化に抗う』のではなく『年齢を重ねた美しさ』を求める時代

とある調べでは、40代女性の46%が“アンチエイジング”という言葉に抵抗ありと回答。  
ひと昔前の「5歳、10歳若返る」などといった若さを競う…加齢に対してネガティブな考えではなく、  
『若さより、年相応の美しさ』に価値を求める傾向が高まっています。



年を取ったなりにキレイであればいい、  
ついでに実年齢より少し若く見られる、  
年齢不詳ぐらいが調度いい♪

とはいえ、『年相応の美しさ』を得ることは決して簡単なことではありません。  
そこは、知識・経験豊富なプロのエスティシャンの技術やアドバイスが欠かせません。

## 年齢不詳肌をつくる “ナチュラルエイジング”

ナチュラル=Natural Beauty  
年齢を重ねた自然な美しさ

### 【ナチュラルエイジングのポイント】

- お肌のケアだけでなく、基となる筋肉を鍛える
- 年齢に応じた最適な化粧品を選ぶ
- 美容習慣だけでなく、日々の生活習慣を整える
- 食事管理に、サプリなども活用し腸内環境を整える

プロの施術が不可欠

正しい情報をお客様へアドバイス  
生活習慣の改善や食事アドバイスなど  
自宅での宿題を与えましょう



◆お顔の筋肉を鍛える ⇒先月号で特集をしました今話題の“リガメント(靭帯)”へのアプローチが効果的

### リガメント~Ligament~とは?

「靭帯」のことで、骨・筋肉・脂肪・皮膚を結び付けている接着剤のような役割を担っています。  
このリガメントが弱くなると、表情筋を引き上げる力が弱まるためお顔全体がたるみ、実年齢よりも老けて見られてしまうことも・・・。

サロンに来られるお客様にこんな方はいらっしゃいますか?

- お顔の筋肉が触ると常に硬い
- 左右のお顔のバランスが悪い
- 実年齢よりも老けて見られがち

リガメントや表情筋など、筋肉の萎縮に効果的な施術をすることで、  
“ナチュラルエイジング”を実現!!

では、お顔の筋肉を鍛えるトリートメントは!?

## ナチュラルエイジング トリートメント①

### 骨格と筋肉のバランスを再形成する“顔筋集中トリートメント”

【サンクオリジナルフェイシャル技術】『リ・フォーメーション』 行程:約60分  
推奨価格:8,000円~12,000円

### 【技術ポイント】

- リガメント(靭帯)をほぐし、筋肉の萎縮を伸ばして元の位置に戻す
- 老廃物の流れを止める関節部分を緩め流す
- 骨格にアプローチすることで、効率的に筋肉を弛緩させる
- 頭蓋骨の縫合部分にアプローチすることで、むくみやたるみの原因を解消



Before After

『リ・フォーメーション』  
施術1回のBefore&After

モデル:60代後半 トリートメントを受けるのは約半年ぶり

【技術者コメント】1回の施術でしたが、全体的に肌の血色が良くなり、お顔のたるんだ筋肉が引き締められました。口周りや首、額のシワも軽減され、目の周りもスッキリしました。



## 新しい技術への挑戦を応援!

通常「リ・フォーメーション」の技術講習の受講には、  
初回スターターキットの導入[51,300円(税別)]+講習費[40,000円(税別)]が必要なところ、

**2018年6月まで講習費[40,000円(税別)]のみで修得頂けます。**

## 新規集客や売上アップに、新しい技術を『リ・フォーメーション』セミナー

<講習所要時間> 1日(7h)講習 10:00~17:00

<講習会場> 東京 ※会場についてはお申込み頂いた際にお知らせ致します。

<講習日程> 2018年4月16日(月) <講習費> おひとり様  
5月15日(火) 定員 各4名 40,000円(税別)

尚、上記日程でのご都合が合わない場合については別途調整させて頂きます。  
また、**2名様以上の新規ご受講**については臨店での講習も調整させて頂きます。

**インターネットでは得られない価値** 美容関連の情報や商品がネット上で氾濫している現代。  
消費者は少しでも安く購入したいと、商品の使い方や特徴はサロンに聞いてくるが商品はネットで購入する・・・そんなお客様増えていませんか?正直お客様とはいえ困ったものです。弊社としてもネットでは買えない、エステティックサロンだからこそ購入できる商品を常に探しております。そのひとつが弊社オリジナルの“Soins de PRO”やドイツ製ブランドの“メドスキン・ソリューションズ”です。そして、何よりネットでは得られないもの、それはエステティシャンの「技術」です。この「技術」だけは、ワンクリックで「ポチッ!」と買えるものではありません。  
新しい「技術」を取り入れることは、新しい顧客の開拓、既存のお客様には新鮮さを与え来店を促すなど欠かせません。